

研究実施のお知らせ

2025年7月15日 ver.1.0

研究課題名

肩腱板断裂に対して手術を行った症例の調査

研究の対象となる方

2006年9月から2025年8月の間に島根大学医学部附属病院で肩腱板断裂と診断され、手術を受けられた方

研究の目的・意義

肩腱板断裂は高齢者に生じることが多い疾患で、60歳代の25.6%、70歳代の45.8%、80歳代の50%にみられます。そのうち3分の1の人が疼痛や筋力低下により生活に支障をきたし、手術治療を必要とすることがあります。しかし、腱板断裂を生じても有症状と無症状を分ける要因について未だ明らかとなっておりません。また、治療法としては主に手術が行われていますが、その最適な手術方法について、様々な縫合方法があり、どの方法が最も適切な方法か明らかとなっておりません。本研究の目的は腱板断裂に対して手術を行った症例について後ろ向きに調査し、その特徴や治療成績について調査し、症状や治療成績に関連する因子を明らかにすることです。

研究の方法

研究対象者のカルテから次のデータを収集する。

- 1) 年齢、性別、現病歴、既往歴、職業歴、スポーツ歴、利き手、利き足、生活歴といった基本データ
- 2) 患者立脚型肩関節機能評価 (SF-36)
- 3) 身体所見
- 4) 血液検査所見 (CBC, 血球分画, TP, Alb, T.bil, AST, ALT, LDH, ALP, ChE, CK, CRP, BS, Hb A1C, PT, APTT, D-dimer, BUN, Cr, eGFR, Na, Cl, K, Ca)
- 5) 尿検査 (尿定性、尿有形成分、尿BJ蛋白)
- 6) 生理検査所見 (電気生理学検査、心電図、超音波検査)
- 7) 画像所見
- 8) 骨形態、関節症性変化の程度
- 9) 断裂した筋腱、筋萎縮や脂肪変性の程度

- 10) 断裂範囲の大きさ、引き込みの程度
- 11) 合併損傷（軟骨損傷、上腕二頭筋長頭腱損傷）
- 12) 手術術式
- 13) 術後の疼痛、身体所見、機能評価
- 14) 術後の画像所見（単純 X 線、単純 CT、MRI）

上記情報を用いて、症状や検査所見の特徴、治療成績を明らかにします。

収集したデータは、島根大学医学部整形外科学講座内の外部から容易にアクセスできない PC に保管します。PC にはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。研究対象者リストはデータとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管します。外部への持ち出しは行いません。

研究に関するデータ及び関連資料（研究に関する手続き資料を含む）は、研究結果の最終報告を行ってから 10 年間は保管し、その後保管の必要性がなくなった時点で研究対象者の識別が不可能な状態で廃棄（消去）します。

研究の期間

2025 年 8 月 29 日～2027 年 7 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：伊藤修司
島根大学医学部整形外科学講座

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026 年 3 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用

してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部整形外科学講座／附属病院整形外科 伊藤修司

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2242 FAX 0853-20-2236